11月 すいもん通信

社会福祉法人 晃宝会
（ あじさい園・あじさい園 宝 ）
オレンジカフェ すいもん
奈良市水門町 47-3
TEL 0742-93-9791

２０２６ イベントカレンダー

（ 営業時間 11：00 ～ 15：00 カフェ/カフェ営業日 ）

1	日	
2	月	
3	火	カフェオープン
4	水	
5	木	
6	金	カフェオープン
7	土	カフェ/二胡教室 健康体操
8	日	
9	月	
10	火	カフェオープン
11	水	
12	木	
13	金	カフェオープン
14	土	
15	日	

16	月	
17	火	カフェ/しゃべり場
18	水	
19	木	
20	金	カフェオープン
21	土	カフェ/二胡教室
22	日	
23	月	
24	火	カフェオープン
25	水	
26	木	
27	金	カフェ/二胡教室
28	土	カフェ/ 10:00～ 野菜販売
29	日	
30	月	

（ 地域の先生によるイベントのご案内 ）

＜ 本末浩司先生 健康体操 （けんぞう倶楽部）＞

11/7（土）10：00 ～11：00

奈良市社会福祉協議会、
若草地域包括支援センターにご協力いただきます



＜ しゃべり場 ＞

11/17（火）13：00～

（認知症の人と家族の会主催）
皆さまのご参加お待ちしています！



＜ 森脇眞理子先生 二胡教室 ＞

11/7・21・27

中国の伝統的な美しい擦弦楽器。
まずは見学だけでもお気軽にどうぞ！



〈オレンジカフェあい〉

（奈良市茗荷町 806－1）

毎週木曜日営業 11：00～15：00

手作りのケーキを自然豊かな田原でどうぞ！

【ご予約はオレンジカフェすいもんへ連絡してください】



「地域共生社会の実現をめざして」

兵庫県の関西福祉大学社会福祉学部教授藤原慶二先生のお話です。先生は兵庫県内のあらゆる市町の専門職アドバイザーとしてそれぞれの市町に出向き、地域課題の抽出、地域の機能強化、システムの構築に携わられています。その中で感覚的にできている(行政や専門職サイド)と感じても、地域の実情とマッチしているか、とモヤモヤ感があるのです、と。

地域包括ケアシステムは専門職のネットワークであり、地域福祉は地域住民の存在が大きい。専門職のとらえる地域課題と地域住民の地域課題にはズレがあり、専門職同士のズレもある。ズレていてもよいので発言することこそ大事で、ここをうまくコーディネートできれば良く、そして、その役割を生活支援コーディネーターが行えればよいのではないか、と。

地域共生社会（我がこと丸ごと）を目指してはいるが、少子高齢化、生産年齢人口減少、その上社会福祉力はさらに必要とされるにも関わらずその力は衰え、専門職ひとりの労力の増すことが目に見えている。そんな中地域共生社会の構築にどう取り組むか。先生のお考えは、ＡＩの活用、例えばケアプランなどで０から１を作る業務をＡＩが担当、そのあとの多様化複雑化する個別の内容について１から２を作る業務をケアマネジャーが行うなどして乗り越えられないか、と。

地域包括ケアシステムとは、自宅のあるところで生活を継続すること、住み慣れたところで包括的支援体制を作るためには、エリアごとの自発的なアイデアが必要で、自分に合うサードプレイスを複数もつことを提案されていました。例えばカフェや認知症カフェなど居心地が良く会話を楽しめるところです。また、若いうちから地域に愛着を持ち、休日も家にこもらず近所を歩いて探検し（地域踏査）地域のことを知ることが大事、町内の方々と挨拶をして地域の風通しを良くするなど、今日からできることのアドバイスもありました。

退職後、生活の場が自宅となった時、居心地の良いサードプレイスを複数持って、地域で楽しく暮らす未来を想像し準備していくことが大切です、と。

そして、専門職は地域に関わる時、焦って地域を操作して施策化してしまいがちだが、住民さんの持つエンパワメントを引き出すべく、住民自ら考え選択し、自らの手で地域共生社会が実現できるようになれば、住み慣れた地域で長く生活できるようになるはず、と締めくくられました。